

■ 9-JP	十二指腸腫瘍に対し腹腔鏡・内視鏡合同手術を施行した 3 例 Three cases of duodenal tumor resected with Laparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery
--------	--

代表演者：下松谷匠先生（長浜赤十字病院外科）

Speaker: Takumi Shimomatsuya, M.D., Surgical Department, Nagahama Red Cross Hospital

共同演者：[長浜赤十字病院外科] 東口貴之、長門優、谷口正展、丹後泰久、張弘富、中村一郎、
中村誠昌、塩見尚礼

3 例の十二指腸腫瘍に対し腹腔鏡・内視鏡合同手術 LECS を行ったので報告する。

【症例 1】83 歳男性 2011 年内視鏡検査で十二指腸球部前壁に隆起病変を指摘され生検で NET,G1 と診断された。腹腔鏡下に腫瘍は同定できず、内視鏡的に針状メスにて全層刺通しマーキングした。超音波凝固切離装置を用いて全層切除し、縫合閉鎖した。腫瘍径は 3.5x4.5mm、深達度は sm で断端は陰性であり、術後 15 日目に退院となった。

【症例 2】71 歳男性 2014 年の内視鏡検査で下十二指腸角に腺腫を指摘され、増大傾向のため手術の方針となる。腹腔鏡下に下十二指腸角を展開し、内視鏡的に周辺切開し EMR を施行した。中心部が穿孔し腹腔鏡下に縫合閉鎖した。Tubular adenoma with moderate atypia. 11x9mm 断端は陰性で 7 日目退院となった。

【症例 3】65 歳男性。2016 年内視鏡検査で十二指腸上十二指腸角に小隆起性病変を認め、生検で NET, G2 の診断となる。腹腔鏡下に Kocher 手技を行い、術中のクリップを指標に腹腔鏡で十二指腸を切開した。超音波凝固切離装置を用いて全層切除し、縫合閉鎖した。腫瘍径は 4x2mm、深達度は sm で断端は陰性であり、術後 7 日目退院となった。

【結語】十二指腸の NET に対しては全層切除、腺腫に対しては EMR による切除により一括切除ができ、LECS の手技により根治的かつ安全に手術ができた。